

のだ。高齢者・障害者の分野での仕事おこしと並んで、子育ての分野が爆発的に増加している昨今、若者の自立支援という課題に直面し、そして中学生へのアプローチとつながったわけだが、話の内容はともかく、協同労働が担う新しい公共の分野が、また一つ立ち表れていくように思う。文科省は、コミュニティスクールという新しい学校のあり方も始めている。また、大学発仕事おこしも継続していることから、子供から社会人にいたる、いわゆる社会の一員としての育ちを継続的に支援する仕事を、協同労働が

担う時代が近づいてきたように思う。教育という狭い範囲ではなく、もっと本質的な営みとなる予感がする。我々の運動は、「何故生きる」「どう生きる」という領域へ接近してきた。そして、それを現実化する仕事おこしやその場作りは、自治体との関係作りや新しい公共を担う取り組みの本格化を意味する。社会の中心で協同労働が叫ばれる時代、その未来の予感こそが、私の元気の源であり、日々の子育ての格闘もそんな自分を顧みる貴重な営みである。

研究所たより 研究所たより

協同総合研究所では、会員の研究・実践の交流を深めていくために、各地域ごとの会員研究会を行います。

関東地域では、9月に行ったイギリス調査から、サンダーランドの社会的企業グループの活動と、ロンドンの「アカウント3」のマイクロクレジットの活動とを事例にして、社会的企業の日本での可能性について探るという企画です。また10月のイタリア協同組合視察から帰国直後の真新しい情報も聞

きます。

関西地域では、「障害のある人の仕事おこしと協同労働」をテーマに、NPO大阪障害者雇用支援ネットワークの皆さんのご協力の下、協同の仕事おこしの実践を行っている方々よりご報告をいただき、研究・交流を深めたいと思います。

協同総研の会員・非会員に関わらず、ぜひご参加ください。

● 関東地域会員研究集会

■日時：10月29日（土） 13:00～16:00

■会場：明治大学研究棟4階第1会議室

■内容：

開会挨拶：協同総研 中川雄一郎理事長

特別講演：「地域再生をめざす社会的企業とILO」(仮題)堀内光子さん（ILO駐日代表）

イギリス／イタリア視察報告：

報告 1：「社会的企業サンダーランド（SES）の諸活動（レストラン、保育所、演劇、
地域を支える小学校など）（ワーカーズコープ・キュービック 村山節子さん）

報告 2：「イースト・エンド・マイクロクレジット・コンソーシアム」（仮題）
（明治大学教授 中川雄一郎）

報告 3：「エミリア・ロマーニャ州＆ボローニャ市の社会政策～協同組合の位置」（仮題）
（日本労協連理事長 菅野正純さん）

特別報告

社会的企業の中軸たる協同労働の協同組合の法制定について
（法制化市民会議 島村博さん）

フリーセッション「みんなの研究所」

交流会

● 関西地域会員研究集会

■日時：11月6日（日） 13:00～17:00

■会場：エル・おおさか 11F 大会議室

〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14 地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から徒歩から西へ300m

■内容：

【基調座談会】「働く地域をどうつくるのか」

斎藤縣三さん（共同連 事務局長）

矢野孝さん（矢野紙器株式会社 代表取締役社長）

関宏之さん（NPO大阪障害者雇用支援ネットワーク代表理事）

【ポスターセッション】

北川恭子さん（豊能障害者労働センター（箕面市））

白杉滋朗さん（ねっこ共働作業所（大津市））

花崎昌子さん（労協センター事業団滋賀地域福祉事業所（栗東市））

小西英玄さん（奈良市手をつなぐ親の会）

辻本直子さん（有限会社オラシオン代表取締役）

岡崎美穂さん（加古川はぐるま福祉会） ほか

【バズセッション】みんなでわいわいがやがやと

【協同労働法制化のアピール】など

交流会

■協力：特定非営利活動法人 大阪障害者雇用支援ネットワーク

※参加を希望される方は、協同総研までご連絡ください（交流会も）。

菊地 謙